



所在地 新潟県燕市燕49番地7
 代表者名 江口 正恒
 電話番号 0256-63-7211
 F A X 0256-62-2246
 U R L <http://www.ichibishi.com/>
 E - m a i l ichibishi@outlook.com
 設立年月日 昭和52年2月28日
 資本金額 1,000万円
 従業員数 9人
 業 種 金属製品製造業
 得意分野等 金属器物の製造

テーマ

フチに隙間のない【玉ぶち形状ボウル】の開発

目的

フチに隙間のないボウル、パンチングボウルを開発し、水分や汚れによる腐食進行や細菌発生リスクの回避を図ります。また、昨今の異物混入事件等の影響で高まっている消費者の「食の安全」に対するニーズを取込む事業です。

事業の内容

■事業取組みの経緯

現在市場にあるボウルはフチの隙間から汚れや水分が中に入りこんでしまう形状であり、腐食進行や細菌発生リスクがあります。また食物アレルギーの方がいれば小麦粉など入り込む余地があったりと消費者の「食の安全」に対する意識は高まっていることから、調理器具における衛生面の改善は高いニーズがあると考えています。そこで食の安全上のリスクを解消した誰もが安心して使えるステンレスボウルを開発しました。

■実施内容

1. 浏卷きをなくすことで、水分や粉がたまらず、細菌発生や食物アレルギーリスクの回避を図る。
2. 外径を小さく、深さは深くすることで、容量を保ち、作業効率と収納効率をアップさせる。
3. 同サイズのボウルを重ねた時のはまりをなくす。

以上のことから総合的にストレスをなくし、気持ちも含め、効率をアップさせるボウルの開発を設計者に依頼しデザインの観点、使い勝手の良さを考えながら且つ定性評価として展示会に出品するなどの手法を行いボウルの試作を行った。



事業の成果

■事業取組みの成果

全くフチに隙間のない一体成型のボウルが完成した。この製品の特長は、軽量でありながら深型タイプ形状としたことで食材をかき混ぜる際に粉や液体などの材料などが外に飛び散らせることなく、綺麗に調理できること、さらにはボウルのフチに異物が挟まったり、汚れやすすぎ水が留ることがない衛生面が向上した製品が実現したことである。

1. 重さ：スピニング工程で予想よりも薄く絞れた事で、計画時よりも重量を減少させ、より使いやすい仕様となった。
2. 形状：本事業の玉ぶち形状ボウルは、外注先の設計者（小野里奈氏）の提案により従来のボウルより高さを出して深型タイプにした。また、市場調査したところ深型タイプのものは市場での流通量は圧倒的に少なく大きめの製菓用ボウルのみだった。この深型タイプは、デザイン的にも優れ、かき混ぜ作業では粉や液体が飛び散りにくいメリットがある。
3. 試作品を試してみたが、ボウル小のサイズでも卵6個をかき混ぜる事ができるほどの容量を獲得できていた。調理中にかき混ぜた粉や材料が飛び散ることを抑える仕様となった。



■その他（製品等の内容、今後の活動予定、販売計画等）

展示会での評価（定性評価）

28年6月に東京ビッグサイトで開催されたインテリアライフスタイル展で、本事業で開発した玉ぶち形状パンチングボウルを出品し意見を徴した。

概括するならば、「デザイン的には優れている」、「食洗機の使用でもフチの隙間から洗浄液の垂れる心配がない」、「異物が挟まったり、汚れがフチに留まることもなく衛生面での改善が図られた」のほか、改良に資する意見としては「パンチングボウルで米を研ぐことはないので、孔は大きくても良い」、「水切りを良くする工夫が大事」ということであった。様々な意見を頂戴したが、総括するならば製品化の見通しが立つ評価を得たと言える。

またGOOD DESIGN AWARD2016、ニイガタIDSコンペティション2017を受賞し、より多くの方々に知っていただいた。今後は展示会でのフォローアップを中心に営業していきたいと考えています。